



医誠会の挑戦！！

職員を守り、医療崩壊、介護崩壊を防止する。

医療法人医誠会では、グループ施設の患者さん・ご利用者さんとその家族、取引先企業、医誠会健康クラブ会員にまで対象を拡大し、発熱や風邪症状のある方の新型コロナウイルスの検査を実施しています。



トリアージ Tent（仮設待合室）前での患者さんの検査受入れ ※医誠会病院



ソーシャルディスタンスへの対応

医誠会グループ病院では、RT-PCR法、Lamp法の検査機器を導入し、病院内に新型コロナウイルスを持ち込ませない対策を進めています。職員はもちろんのこと、救急搬送されてきた患者さんや手術等での入院患者さんで発熱等の症状のある方には、各施設に設置されたトリアージ Tent 等の仮設待合室で検体採取し、5月22日までに480件を超える新型コロナウイルス遺伝子検査を行っています。また、医誠会病院では、正面玄関

ホロニクスグループ 新型コロナウイルス遺伝子検査件数

医誠会病院	RT-PCR法	307件
	Lamp法	94件
城東中央病院	RT-PCR法	67件
摂津医誠会病院	RT-PCR法	12件
合計		480件

2020.5.22 現在



トリアージ Tent ※城東中央病院

にサーモグラフィカメラを設置し、病院内に入るすべての方の体温をチェックしています。すべては、安心・安全な環境で患者さん・利用者さんに医療・介護サービスを提供するため！！医誠会の挑戦は続いています。



安全キャビネットを用いた RT-PCR 検査風景（医誠会病院）



医誠会病院に設置されたサーモグラフィ



ドライブスルー方式による検体採取の様子（グループ施設内）